

2020年5月25日

関係各位

株式会社コスモスモア
丸紅アークログ株式会社

BIMの有効活用で設計施工の新たな事業スキーム構築のため 株式会社コスモスモアと丸紅アークログ株式会社がアライアンスを締結

～総合建材プラットフォーム「Arch-LOG」を介し BIM 活用を加速～

株式会社コスモスモア（本社：東京都渋谷区、社長：枝廣 寿雄）と丸紅アークログ株式会社（本社：東京都港区、社長：三川 亮）は、BIM オブジェクト（※）の検索プラットフォーム「Arch-LOG（アークログ）」を介して BIM オブジェクトの拡充と同プラットフォームの活用を目的としたパートナーシップ契約を4月6日付で締結致しました。

※BIM（ビム）：「Building Information Modeling」の略称。コンピューター上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様、性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築すること。

【背景】

建設・内装業界において急速なデジタル化が進む昨今、「3次元で設計施工し建物や内装が完成する前に視覚化できる」BIM活用は以前より注目されており、コスモスモアにおいても、設計品質のスピードを飛躍的に向上させるBIMを有用な設計ツールとして積極的に活用し始めました。BIMは、設計の品質を担保・向上させるだけでなく、AIやIotと連動した新たな設計技術の創出、施工段階における総合的な干渉チェック、建築物のファシリティーマネジメントなど、建設におけるライフサイクルを廻す重要なキーテクノロジーです。こうした背景から、Arch-LOGを介してBIMを有用な設計・施工ツールとして取り入れ、活用を進めるためにコスモスモアと丸紅アークログはパートナーシップ契約を締結しました。

【目的】

コスモスモアにおいて、BIMを更に活用した設計から施工までの事業スキームを構築したいと考えており、丸紅アークログ株式会社が開発した、建築建材総合検索サイト「Arch-LOG（アークログ）」に事業のノウハウを蓄積することにより、設計・施工業務における効率化（働き方改革）を図りたいと考えております。

【Arch-LOGの活用方法】

Arch-LOGでは一般的な建築部材、建材メーカーが作成しているオブジェクトや各素材のカタログデータだけでなく、衛生陶器や厨房機器、医療機器などのオブジェクトデータも同一のプラットフォームに格納されています。BIMアプリケーションとダイレクトに連携するため、オブジェクトの検索やBIMに取り込む手間、さらには素材選択からサンプル依頼、マテリアルボードの作成に至るまで省力化が図れます。また、高精細なレンダリング機能（※）を活用することで、関係者間の意思決定の迅速化を実現します。

※レンダリング機能：3Dモデルの情報と割り当てられた素材や光源などの情報からコンピューターが計算し、パース（透視図）を作成する機能

【今後の展望】

コスモスモアは本アライアンスを通して、同社が得意とするオフィス内装設計の他、リノベーション・新築住宅・スポーツ・エンターテインメント施設等、あらゆる分野の設計において、コスモスモア設計部門全体で Arch-LOG を活用していきます。これにより BIM オブジェクトプラットフォームの充実に積極的な役割を果たすと共に、Arch-LOG の BIM データベースと連携することで新たな設計・施工手法の構築を積極的に進めていきます。また、ここで両社が実績を上げることで建設業界全体の発展と働き方改革に寄与することも目的と致します。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社コスモスモア ファシリティ事業部 堤博章
TEL. 03-6892-2386
E-mail. info@cosmosmore.co.jp

丸紅アークログ株式会社 営業部 田邊康弘
TEL. 03-6381-7270
E-mail. info@m-arch-log.com

■BIM

3次元設計手法であり、設計モデルの中に建材情報を含む BIM モデルを利用し設計するため、設計・施工はもとより資産管理、建物管理まで、あらゆる工程で BIM が持つ情報を活用することができる、新しいソリューションを生み出すワークフロー。欧米では 2000 年頃から 3D データ化、BIM 化も急速に普及。アメリカでは 2007 年には BIM 義務化が開始となり、イギリスでは全サプライチェーンまで摘要範囲を拡大。アジアではシンガポールが 2011 年から、香港も 2018 年から BIM が義務化となり、日本は諸外国に比べ大幅に遅れている現状があります。

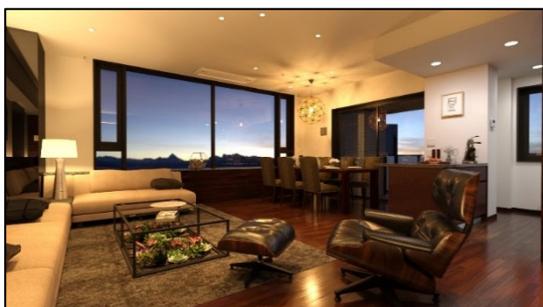
■Arch-LOG

①建材の新しいプラットフォーム

現在、建材メーカーだけでは克服できない、BIM に対する様々な課題があります。Arch-LOG は、それらの課題を克服する「BIM サービス」を提供。建築業界に関わる様々な人々の利便性、業務効率向上の一翼を担い、全て無料で提供されるワンストップサービスです。

②知的財産の保護

従来、建材メーカーがユーザーに対して建材のデジタルデータを提供する際、データの知的財産保護が大きな課題となっておりました。Arch-LOG では、各建材の知的財産を含む高精細デジタルデータはクラウドサーバーのみに格納し、ユーザーの手元には渡らない仕組みとなっており、建材メーカーのセキュリティも担保されたプラットフォームです。



▲高精細の CG パースを短時間で作成



▲Arch-LOG トップページ